

令和4年度決算
富士市議会事業評価

令和5年10月11日
富士市議会

令和4年度決算 富士市議会事業評価

No.	1	06-02-02-002-003 003-001
		林業振興事業費（富士ヒノキ製ベンチPR事業） 森林経営管理事業費

評価		評価に至った理由
B		<p>市内の森林の多くが主伐期を迎え、林業振興や森林経営が重要な課題となっている中、森林経営管理制度を効果的に活用し、令和2年度及び令和3年度における私有林の整備面積の合計が全国第1位となったことは評価できる。</p> <p>その一方で、富士ヒノキ製ベンチPR事業については、令和2年度に開始した事業であることを踏まえても、ベンチの首都圏などへの寄贈が富士ヒノキの知名度向上や販路拡大等につながっているとは言い難く、成果に乏しいと言わざるを得ない。</p>
A	十分評価できる	
B	やや評価できる	
C	あまり評価できない	
D	全く評価できない	

今後の方向性		今後の取り組み方及び翌年度予算への提言
3		<p>令和6年度から森林環境税の賦課徴収が開始され、その使い道について市民からの関心が高まると予想されることから、課題である林業の人材育成・担い手確保、普及啓発、木材利用の促進に資する事業をより一層強化することを求める。また、富士ヒノキ製ベンチPR事業は、その実効性を検証し見直しを求めるとともに、東京23区に配分されている森林環境譲与税を活用して、市有林内へ区民の森を誘致する活動は、当初からの目標でもあるため、早期に実現することを求める。</p>
1	拡充する	
2	継続する	
3	改善し継続	
4	大幅な見直し	
5		縮小・廃止を検討
		達成までの期間
		5年以内

No.	2	07-01-03-001-003
		ものづくり人材育成事業費（発明くふう展）

評価		評価に至った理由
B		<p>工業都市富士市として、将来のものづくり人材を育むことを目的とした本事業を長年にわたり実施し、市長賞受賞作品への実用新案登録出願する権利の授与や、受賞者を神奈川工科大学ものづくり体験バスツアーに招待するなど、事業の魅力を高める努力をしてきたことは評価できる。しかしながら、小中学生からの出品については、教員の負担感や各校の事情によって応募状況に偏りがあるなど、全ての子供に対し機会が平等に提供されているとは言い難い状況にあることや、今後益々重要となるデジタル技術を駆使した作品の出品機会にはなっていないなど、課題もあると考える。</p>
A	十分評価できる	
B	やや評価できる	
C	あまり評価できない	
D	全く評価できない	

今後の方向性		今後の取り組み方及び翌年度予算への提言
3		<p>教員の負担に配慮するとともに、夏休みの課題としているかどうかにかかわらず、子供たちが出品しやすい環境を整えるほか、本市が進めるSTEAM教育に資するプログラミングやデジタルアート等、デジタル技術を使った作品の取扱いなど、今の時代に求められるものづくり人材の育成に向け、多くの人が楽しんで出品できるような事業とすることを求める。</p>
1	拡充する	
2	継続する	
3	改善し継続	
4	大幅な見直し	
5		縮小・廃止を検討
		達成までの期間
		3年以内

令和4年度決算 富士市議会事業評価

No.	3	08-06-03-003-002	
		生け垣作り助成費	
評価		評価に至った理由	
C		<p>生け垣には、目隠し、防風・防火などの機能のほか、環境面ではヒートアイランド現象の緩和や二酸化炭素排出量の削減などの効果がある。昭和54年度の制度施行以来、令和7年度の目標値である総延長3万6000メートルに対し、現在までに3万5046メートルを達成していることは評価するものであるが、近年は申請者数が低迷しており、目標達成を前に足踏み状態とも言える状況が続いている。少子高齢化の進展等により、維持管理の煩雑さを懸念する世帯が多くなるなど、生け垣そのものが現在の住宅事情に合ったものとは言えなくなっており、市民ニーズに合った事業とは言い難い。</p>	
A	十分評価できる		
B	やや評価できる		
C	あまり評価できない		
D	全く評価できない		
今後の方向性		今後の取り組み方及び翌年度予算への提言	
3		<p>事業の大目的である、緑豊かで住みよく安全な都市環境及び景観づくりを推進するため、今後行う利用者アンケートの結果も参考としながら、現行の制度については、延長3メートル以上、1メートルにつき2本以上などの補助要件について緩和の検討を求める。また、新たな施策として、庭木のある庭園の整備や壁面緑化への補助制度を検討するなど、生け垣にこだわることなく、市民ニーズに合った事業展開を求める。</p>	
1	拡充する		
2	継続する		
3	改善し継続		
4	大幅な見直し		
		達成までの期間	
5	縮小・廃止を検討	3年以内	

令和4年度決算 富士市議会事業評価

No.	4	水道事業会計	
		水道料金賦課・収納事業	
評価		評価に至った理由	
B		<p>調定件数が増加する中、令和2年度から令和4年度までの実績において、いずれの年度も目標収納率である97.75%を上回っていることは一定の評価ができ、事業の民間委託自体は今後も継続すべきと考える。しかしながら、期を追うごとに委託料が増加していることは、人件費の上昇や検針件数の増加等、業務コストの上昇のほか、プロポーザルに複数の業者が参入できていないことも要因として大きいと考える。</p> <p>また、未納者への対応に当たっては、収納課等、他部署との連携をより強める必要があると考える。</p>	
A	十分評価できる		
B	やや評価できる		
C	あまり評価できない		
D	全く評価できない		
今後の方向性		今後の取り組み方及び翌年度予算への提言	
3		<p>令和7年度以降の第5期の契約に向けては、プロポーザルに複数業者が参入しやすい環境の整備を求める。</p> <p>未納者への対応については収納課と協議し、有効な手法の検討を求める。</p> <p>水道メーターについては、費用対効果が課題とされているが、業務の効率化や高齢単身世帯への見守り効果といったメリットを勘案しながら、引き続きスマートメーターの導入を検討してほしい。</p>	
1	拡充する		
2	継続する		
3	改善し継続		
4	大幅な見直し		
		達成までの期間	
5	縮小・廃止を検討	その他（第5期の契約前まで）	

No.	5	病院事業会計	
		中央病院人材活用事業	
評価		評価に至った理由	
B		<p>中央病院の基本方針の一つである「次世代の医療を担う人材育成」に基づき、医師への研修、医療サービスの質の向上、特定行為看護師、認定看護師等の資格取得の支援を行い、人材活用事業の取組として人材育成に力を入れていることは一定の評価ができる。しかしながら、令和6年度から始まる医師の働き方改革が迫る中、時間外労働が基準値を超える医師がおり、特に麻酔科の医師は常勤1名であり、長時間労働を強いられている。また、看護師・助産師、看護助手等に至っては欠員が出ており、人手不足の状況が改善できていないという課題がある。</p>	
A	十分評価できる		
B	やや評価できる		
C	あまり評価できない		
D	全く評価できない		
今後の方向性		今後の取り組み方及び翌年度予算への提言	
1		<p>医師の確保に当たっては、令和6年度から始まる時間外労働上限規制に対応するため、人材育成センターを最大限活用し、タスクシフトに対応する看護師をはじめとした医療職の人員確保や資格取得の支援を進めることを求める。また、初期臨床研修医だけでなく、後期臨床研修医も確保できるよう、育成・指導を担う指導医の確保・育成を求める。働き続けることのできる環境の整備を進め、中央病院で働く魅力を発信するため、ウェブサイトの拡充やSNS発信の充実を求める。</p>	
1	拡充する		
2	継続する		
3	改善し継続		
4	大幅な見直し		
		達成までの期間	
5	縮小・廃止を検討	翌年度から	